

2017 年を振り返って

この一年、皆様には当院をご支援、ご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

いつもこの時期になると思うのは、一年が過ぎ去る早さとともに、当院がこの一年皆様のご期待に添う病院運営ができたかどうかということです。しばらく増改築等大きな工事が続いた当院ですが、今年はそれも一段落し、来るべき新年に向かっての足場固めと諸準備を進めた年でした。

その一つが、新年 3 月に慢性期病床 50 床を回復期リハビリテーション病床に転換し、全病床（180 床）を回復期リハビリテーション病床にするための準備です。これは、当院が掲げてきた「回復期リハビリテーションに特化する」という目標に対する一つの到達点ですので、何とんでも成功させたいと思っています。そして、当院はさらなるリハビリテーションの質の向上を追い求めます。転換前後は患者様、関係機関に何かとご迷惑、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

また、リハビリテーション病院として地域の皆様のニーズにしっかり応えるため、職員全員が質の向上に努め、3 月に日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審して、7 月に同機構より認定を受けたことは職員にとって大きな自信と励みになりました。

一方、10 月には腰痛サポートダイヤルを新設し、同時に患者様をお迎えに行く「サポートカー」を運行したところ、さっそく地域の医療機関、患者様から多数のご連絡をいただき、快調な稼働状況となっています。その反響の大きさに驚くとともに、地域のお役に立っていることに喜びを感じる毎日です。愛媛国体その他のカヌー競技に出場し、好成績を収めている医事課の奥田翔悟職員は、サポートカー担

当スタッフの一人としても活躍しています。

11 月には、外部講師を招いて幹部職員研修を実施しまし

た。病院を支え、部下を引っ張る立場の幹部職員は何を考え、何をしなければならないのかを、グループ討議を中心にみんなで考えました。この研修会には、坂口理事長、高橋院長も参加し、熱のこもった研修会となりました。幹部職員が自身の役割をしっかりと認識し、新年に向かって強いリーダーシップを発揮してくれるものと期待しています。

来年は、「戊戌」（つちのえいぬ）の年です。戊は、「植物の成長が絶頂期にある」、戌は、「草木が枯れる状態を表す」という意味があり、相反する意味を持っていることから、明と暗がはっきり分かれる年と言われています。このことから、来年は、今まで頑張って準備をしてきた人は花開き、そうでない人は現状維持かそれより悪い状態になる年ともいわれています。

当院は、今年度の諸準備が新年に花開き、職員全員が達成感をもってより一層地域の皆様、関係機関のよりどころとなれるよう頑張っており、引き続きご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

皆様にとりましても新年が希望の花開く幸多き年となりますようお祈りし、年末のご挨拶とさせていただきます。

琵琶湖中央病院の基本方針

1. 診療、看護、療養支援、リハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 地域の医療機関との、きめ細やかで深い連携と協働で地域社会に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 職員の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。

年末年始の外来診療について

12月30日（土）～1月3日（水）は休診とさせていただきます。ご不便をおかけしますがご了承ください。

